

会議結果

会 議 名	第 6 回西尾市行財政改革推進委員会
日 時	令和 3 年 8 月 5 日（木） 午前 9 時 30 分～午前 11 時 15 分
場 所	西尾市役所多目的室（1 階）
出 席 者	委員…槇野委員、三浦委員、久世委員、尾崎委員、小島委員、石崎委員（欠席）、杉浦委員、中根委員 事務局（企画政策課）…藤井課長、鈴木課長補佐、宮嶋主任主査、三浦主事
鈴木課長補佐が会議を進行。 会議の概要は次のとおり。 会の成立を報告。 1 協議事項 行革案について 槇野委員長が進行。 （1） 歳入確保部会「西尾市ごみ指定袋広告掲載事業」について 部会代表者が説明。 以下質疑応答 委員：計画案中の予算の範囲内ではということか。 部会：見積によると予算は 5,300 万円程度。入札し卸に出すと聞いている。単価は燃えるゴミで 5～6 円程度。表面で色を変えなければ広告を入れても単価が変わらないと聞いている。色を変えると単価が変わる。 委員：単価が変わらなければ作成枚数も変わらない。 部会：そのとおり。 委員：予算を超過してしまった場合ゴミ袋は作成しないのか。 部会：なくならないように補正等で予算確保することになる。 委員：市予算負担は。 部会：ほぼ費用どおりの歳入となると聞いている。 委員：費用対効果が課題とあるが実施するのに大きな負担があるか。導入時くらいではないか。 部会：他市の要綱もあるのでそこまで大きい負担はないと考える。 委員：1 年 1 社か。募集する広告掲載料が偏らないよう袋の枚数はバランスよく振り分けるという言葉の意味は。 部会：他市の事例を見ても方法はさまざま。1 社ということも考えられるが、レイアウト次第となる。担当課に判断してもらう予定。部会で決めることではない。 多ければ多い方が費用としては良いがここでは決められない。 委員：募集する広告掲載料が偏らないとの記載の意味は。 部会：袋ごとで募集するとそれぞれの広告費が異なりバランスが取れないということ。 委員：広告掲載料が低いと感じた。掲載広告 10 件とするか単価を上げるかできないか。 部会：最低価格である。他の広告と比較した結果や、コロナの影響で事業者が広告事業を遠慮しているという現状を考慮して考えた。	

委員：計画は良いものと思うが、もう少し効果があると良い。

部会：複数掲載している他市もあるため、多く掲載できれば良い。

委員：外袋の広告イメージがわからない。

部会：レイアウト的に厳しいと考えている。できれば掲載して欲しいとは考えるが。

委員：広告効果がないと応募が見込めない。

部会：外袋はバーコードの記載があるため黒色も使えるかもしれない。

委員：令和5年度開始とあるが、令和4年度開始とできないか。

部会：担当課に気を使って余裕を持った計画とした。

委員：仕事のやり方、意識の改革をこの委員会として期待している。担当課に付度するのではなくコミュニケーションを取ってほしい。ポテンシャルのある計画と思うが効果の最大化ができる案になっていないと考える。

広告掲載数も部会が考えた案を担当課にぶつけて欲しい。袋の種類も、あるものは全て対象にしてほしい。

最低単価の設定に際しては、関係者ヒアリング等マーケティングを行ってほしい。そのための時間の猶予であればわかる。

実施時期は再度関係部署と検討してほしい。

他に検討できる広告媒体はないか。

部会：検討したが効果があまりないものが多い。

委員：検討した結果は共有されているか。

部会：部会のなかで共有されている。

委員：市で共有したほうが良い。意見を求めると良い案が出てくると思う。

進めてほしい案件である、効果が最大になるよう検討してほしい。

(2) 歳出削減部会「公共施設照明器具LED化計画」(修正)

部会代表者が説明。前回提出した中央体育館LED計画から修正したもの。

以下質疑応答

委員：LEDの交換は前提ということか。前回は買取とリースを比較しているが、今回はリース一択ということか。

部会：リース前提。

委員：マイナスになっている施設もいずれはやらないといけないと思う。

部会：買取の費用は出ていない。リースで実施する前提で提案した。

委員：範囲を広げていただく意見に应运えていただいた。

前回の中央体育館との数字が異なるが。

部会：前回は部会が独自に持っていた見積から算出。今回は環境保全課が持っていた違う業者の見積で統一した。前回との違いは保証内容の違い。環境保全課で方法も検討している。

委員：3施設は赤字が大きい。委員会の目的と照らし合わせて外してもらいたい。Co2削減など別の目的として実施するのであればそれはそれで良いが、目的に沿わない内容は別で管理するべき。リース料の考え方、業者の比較を徹底的にやってほしい。

部会だけでなく市全体で考えてほしい。民間では見積徴取だけでなく内容の妥当性を判断する専門部署がある。市として見積能力をつけてほしい。

委員：リース期間10年の終了後はどのようにするか。

部会：継続することもできるし、少し時間をおいて更新ということも考えられる。

委員：再リースであればリース料は安価となる。

部会：そこも含めて検討していきたい。現在確認が取れていない。

委員：確認がとれたら報告いただきたい。

委員：リース期間終了後の条件は確認しておくべき。買取も考えてほしい。

委員：LED 化による電気料金の削減は賛成。方策は検討し再度報告いただきたい。リース条件の検討、特にリース期間終了後の対応。買取との比較をやってほしい。歳出削減が目的であれば赤字施設は整理してほしい。

(3) 歳出削減部会「低圧電力契約プランの見直し」

事務局三浦から説明。

以下質疑応答

委員：新電力の活用も検討いただきたいが、コストアップとなることも例としてある。

事務：そのとおり。今回提案する施設は入札等で削減が図りづらい施設である。

委員：地元の電力事業者活用という視点もあると思う。

環境面での市の考え方は。

事務：環境面は課題として認識しているが、入札等でも条件とできていない。まずはそこから検討していきたいと考えている。

委員：現状施設の電力料金の規模感は。

事務：高圧は2年間で13億から入札結果9億程度の規模感。

低圧の一括契約は年間5千万から3千8百万程度。

今回契約変更する施設の総量は把握していない。

委員：総量は把握してほしい。

事務：計画実行時に把握していく。

委員：今回プラン変更する施設は新電力の参入は難しいのか。

事務：低圧電力一括契約を行う際に精査した。ポンプ場関係の施設が多く、うまみがないことは新電力事業者から聞き取ったため外している。

委員：自治体として環境面も含めた業界の動向をアンテナ高く把握し、フレキシブルに対応してほしい。

2 その他

次第の日程案を確認。三浦から説明。

以上、午前11時15分終了